

第3号様式

令和7年度 第4回東部公民館運営審議会会議録

(令和8年2月 作成)

- 1 開催日時 令和7年12月25日(木) 午後2時57分～午後5時02分
- 2 開催場所 東部公民館 音楽室
- 3 出席者
 - (1) 委員 大塚委員長、舟橋副委員長、加瀬委員、蠣崎委員、牧野委員、本間委員、今井委員
 - (2) 事務局 東部公民館長、三田公民館長、習志野台公民館長、飯山満公民館長、薬円台公民館長
- 4 欠席者
 - (1) 委員 吉田委員、
 - (2) 事務局 なし
- 5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開にあたっては、その理由
 - 公開 (1) 令和7年度 公民館事業報告(9/25～12/24) について
 - (2) 令和7年度 公民館事業計画(12/25～3/31) について
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
 - 公開 (1) 令和7年度 公民館事業報告(9/25～12/24) について 承認
 - (2) 令和7年度 公民館事業計画(12/25～3/31) について 承認
- 8 議事 次ページへ
- 9 資料・特記事項 次回 令和8年3月26日(木) 午後3時から
- 10 問合せ先 東部公民館 電話047-477-7171

令和7年度 第4回 東部公民館運営審議会

議事録

日	時	令和7年12月25日(木)
		午後2時57分～午後5時02分
会	場	東部公民館 音楽室

午後 2 時 5 7 分開会

○事務局（東部公民館長補佐）

それでは、おそろいですので、定刻前ではありますが、第 4 回東部公民館運営審議会を開催いたします。

会議に先立ちまして、資料の確認をお願いいたします。

事前にお送りさせていただきました黄緑色の表紙「令和 7 年度第 4 回東部公民館運営審議会」の冊子、次に、本日机の上に置きました「まなびの風」、そして、「船橋の社会教育—令和 6 年度のあゆみ—」になります。

不足等ございますでしょうか。大丈夫ですか。

それでは、大塚委員長からのご挨拶をお願いいたします。

○大塚委員長

皆さん、今年もはや 12 月ということで最後の月になりましたが、師走の大変お忙しいところ、4 回目の東部公民館運営審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

日頃皆様のご支援、ご協力を賜り、厚く感謝するとともに、後ほど金子館長さんより詳しくお話があると思いますが、全公民館合同事業として、船橋市の公民館 5 ブロック 26 館の館長さんはじめ関係者が参加して「公民館の未来を考える」が開催されました。新しい時代に向けて皆さんのご意見、ご支援をお願いすることになると思いますが、やはり船橋市民、全公民館が新しい時代に向けてやるべきことがあるよということを、全員集まった中で、そういう気持ちになってほしいということを切に願ってきたと思います。今後ともぜひご協力いただいて、やっぱり公民館というのは市民がいて成り立つということと、公民館があるからこそ市民がお互い協力し合っているんだという両方のよい点を、公民館があるからこそできると思いますので、ぜひとも今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

挨拶を終わります。ありがとうございました。

○事務局（東部公民館長補佐）

ありがとうございました。

ただいまから、令和 7 年度第 4 回東部公民館運営審議会を開催いたします。

本日は、委員 8 名のうち、吉田委員からは欠席の旨ご連絡をいただいでいて、7 名の方に出席をいただいでいております。船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、半数以上の出席がございしますので、この会議は成立しております。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び附属機関の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

本日は、運営審議会の傍聴希望はございませんでした。

それでは、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。

大塚委員長、議事進行をお願いいたします。

○大塚委員長

それでは、これから第 4 回目の公民館運営審議会を開催させていただきたいと思います。

本日の議事に入りたいと思えます。次第（1）「公民館事業報告（9/25～12/24）について」、東部公民館長さんから順次説明をお願いいたします。委員の皆さんのご意見は、全公民館のご説明を受けてから頂戴いたします。

それでは、東部公民館長さんからお願いいたします。

○東部公民館長

東部公民館でございます。よろしくをお願いいたします。

9 月 25 日から 12 月 24 日までの事業報告につきまして、まずは 1 ページ目、青少年、「ハッピーサタデー事業」についてでございますが、このハッピーサタデー事業、9 月から 12 月までの 4 項目ございますが、9 月 27 日（土）、バスハイクについてご報告申し上げたいと思えます。

このバスハイクにつきましては、例年この時期に青少年相談員連絡協議会の皆さんのご協力をいただきまして催行しているところでございますが、今年度につきましては、鴨川シーワールドに行っておりまして。当日はおかげさまで天気もよく青空が広がる中で、薬田台公園から出発をいたしました。鴨川シーワールドでは班ごとに分かれて見学し、バスの中ではバスレクリエーションを楽しみ、現地ではシャチのショーなど、水をバシャーンと浴びながら子供たち大変喜んでいただいております。特に、いろいろな管区内の学校の子供たちが混じり合いながら、違う学校の皆さんと班編成で一緒となってお友達になり、グループ活動を通して交流が深まった。これは例年のことではございますが、青少年相談員さんのご指導、ご協力のもと、無事子供たちの笑顔を持って帰ってこれた。帰ってきてからはご家族の中に入って、こんなことがあったよという報告がされ、充実した事業になったのかなと思っております。

続きまして、1 ページの一番下、「中学生職業講演会」でございます。この事業についても、館区内の前原中学校 2 年生全員を対象とした「中学生職業講演会」を開催したものでございます。約 300 名の中学校 2 年生の子供たちを対象に、ここにも書いてあるとおりでございますが、これからの職業の選択に対する参考にしてもらいたいということで、今年度は 9 名の講師の方、つまりは社会人の方に講師をしていただき、この道を選んだ理由、苦労していること、やりがい、または、これからの職業を選ぶ中学 2 年生の皆さんに伝えたいことなどを講演していただきました。

その内容については、評価の中でかぎ括弧で書いてありますが、銀行員は千葉銀行、鉄

道は京成電鉄の新津田沼駅の駅長さん、また、弁護士というのは船橋市の弁護士、警察官については前原交番の警察官など、地域でお仕事されている方を中心に講師を選定し、講演をしていただいたところがございます。子供たちからも感想文が寄せられ、講師の方にお届けしたところがございますが、例年、子供たちにとっては有益なお話が伺えることができたということで、子供たちも参考になったという声が寄せられた事業でございました。

続きまして、2ページをお願いいたします。一番上、成人事業の中で「心も体も喜ぶ健康体操教室」については、12月20日、人数が32名の参加をいただいたことを報告させていただきます。

続きまして、隣の3ページをお願いいたします。「大人の遠足～公民館で過ごす夏のニュージーランドのクリスマス～」についてでございます。この事業については、特にオンラインを活用した事業ということで、昨年度に引き続いた事業でございます。昨年度は北海道の津別と映像をつなげながら、現地の映像を公民館で楽しみながらという事業を展開しました。今年度につきましては、海外に目を向けニュージーランドというところで、現地のガイド曾我史子さんという方とオンラインでつながりまして、ニュージーランドの夏のクリスマス、観光名所の紹介等をしていただきました。現地とは3時間の時差があるということで、開催時間もちょうど向こうの時間に合わせる中で正午から1時間の講座となりました。参加者の皆さんからは、公民館にいながら現地での映像またはご紹介をいただけるということで、好評をいただいた事業となったものでございます。

続きまして、4ページでございます。一番上、「全26公民館合同事業『公民館の未来を考える～これからの社会教育施設とは～』」ということで、ここに挙げさせていただきましたが、先ほど委員長からもこの件についてお話をいただきました。このことにつきましては、この公民館の事業報告、また事業計画が終わった後にまとめてお話をさせていただきたいと思っておりますので、今回はここは飛ばさせていただきます。

続きまして、4ページから5ページにかけて、「福寿大学」、高齢者学級ということで開催しています。5ページ目に入りますが、12月18日、先週、ちょうど1週間前でございますが、コンサートを開催いたしました。関野直樹さんというピアニスト、二宮小学校・中学校をご卒業されたということで、世界的に、また日本でも各地でピアノの公演をされているピアニストでございます。地域で輩出された音楽家ということで、高齢者向けに前半では「ふるさと」を歌いながら、手拍子で3拍子、4拍子というリズムを楽しむ講義を、後半につきましては、ベートーヴェンやショパンの演奏を楽しんでいただく講座で、受講者の皆さんは、世界で活躍されている本場のピアニストの演奏を生で直に感じていただいた講座で、101名の方に参加いただきました。

続きまして、6ページでございますが、「親子で楽しむおはなし会」、12月19日（金）の参加人数は、5組、10名でございます。

続きまして、7ページ、「手話であそぼう！まなぼう！」につきましてお話しさせていただきます。11月30日、この講座については、生涯学習一番星プランにも掲げる「共生社会の実現」の中で、毎年、障害者団体のご協力をいただきながら開催している事業でございます。ミニ講演会から始まりまして、聞こえないってどういうことなのか、日常生活でのコミュニケーションはどうやっているのかをご講演いただいた後、障害者団体の皆さんから簡単な手話を教えてもらったり、または、その手話を使っているんなゲームをやりながら交流を図った事業でございまして、みんな本当に楽しい雰囲気、笑いに満ちた和やかなムードでの開催をさせていただきました。交流を図ることによって、お互いの理解を図ることができた講座になったのかなと思っております。

続きまして、その下の段、「大江戸和船文化展」につきましては、去年は市役所のロビーの美術コーナーというところで、ジオラマによる和船や昔の街並み等を展示した事業でしたが、今年度は東部公民館改修工事が終わったので、狭いながらも1階のロビーで開催した事業でございます。期間は約1週間ちょっとでしたが、来館された方は、精巧にできた模型を楽しんでいただいたと思っております。

その下の「いけばな展」についても、毎年恒例ですが、船橋東部地区の茶華道協会の皆さんにより生け花の展示やお茶席ということで開催している事業で、特にお茶席については、コロナや改修工事で見合わせておりましたが、ここに来てお茶席も開催できて、本来の姿で開催できたものでございます。

続きまして、8ページでございます。「文化祭」、「福祉まつり」ということで、大きな事業を10月、11月に開催できました。先ほども申したとおり、公民館改修工事が終わりました、やっと本拠地に戻った中での「文化祭」または「福祉まつり」ということで、先ほどと重なりますが、模擬店についても、コロナの影響等で見合わせていましたが、コロナが明けて本拠地に戻り、模擬店も開催した中で、にぎわいを見せた「文化祭」、「福祉まつり」を開催できたものと思っております。

最後に、一番下の段、「第21回前原地区青少年の環境を良くする市民の会による音楽会」についてでございます。この事業については、このねらいにも書いてありますとおり、青少年の環境を良くする市民の会の皆さんが日頃小学生や中学生の見守り活動をしている中で、子供たちが日頃練習している演奏や合唱を発表して、感謝の気持ちを伝える交流事業でございます。当日は前原地区の小学校・中学校の合唱部、合奏部、管弦楽部、ギター・マンドリン部のほか、ここにも書いてありますが、前原中学校のPTAから生まれた合唱団による音楽会、これは混声合唱団「ゆかいな仲間たち」で、この方たちは21年目の活動を迎えており、歌う楽しさを子供たちに歌を通して伝えていただいたのかなと思います。日頃の練習の成果を子供たちに一生懸命発表していただきまして、たくさんの熱い拍手が送られ、音楽を通して子供たちと地域の皆さんが楽しく交流を図れた事業になったものと思っております。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

次に、三田公民館長さん、お願いします。

○三田公民館長

それでは、三田公民館がこの期間中に実施しました事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業です。9ページになります。「ふなばしハッピーサタデー事業」の12月20日に実施しました「冬のお楽しみ会」の人数が入っておりませんので申し上げます。19名でした。内容につきましては、フラワーアレンジメント教室を行いました。

ふなばしハッピーサタデー事業は、期間内に4件実施いたしまして、その中の10月12日、「親子理科実験教室」についてご報告いたします。東邦大学ボランティア部の学生を講師として、東邦大学の理科実験教室をお借りして実施いたしました。こちらは平成27年から実施している人気の事業で、毎年定員に達した後もお問合せの電話が多い講座となっております。今年度は偏光、それから振動による幾何学模様などの実験を行いました。偏光につきましては、鏡の上の偏光シートにセロテープを何枚も重ねて紙コップからのぞき込み、キラキラした色の変化を楽しみました。振動による幾何学模様では、薄い板の上の塩が振動によって模様を描いていく様子を観察しました。アンケートでは、「いろいろな科学が学べてよかった」、「また来たい」などの感想がありました。地域の東邦大学の学生と楽しく交流しながら、身近なものの化学反応の不思議な現象や面白さを親子で体験することができました。

続きまして、成人事業の中から「健康美セミナー」をご報告いたします。10ページから11ページにかけてでございます。こちらの講座は新規事業で、様式5事業計画シートの15番目にあるものです。コロナ禍の体力づくり講座として始まった講座で、毎年内容を変えて行っております。今年度は、「あなたの『太る・老ける・痛む・疲れる』」その原因をチェックして体を動かそう！という少しショッキングな副題で実施いたしました。身体機能や食習慣をチェックしまして、その人の体に合ったトレーニングやダイエットを考える講座となっております。参加者はいろんな体の動作を試してみて、自分ができない動きを見つけて身体機能の現状を把握しました。それによって、具体的な目標や手段などを各自で考えまして、自分の課題に合わせた改善方法などの総括的な話を講師から聞きました。自分の食生活や身体機能について客観的に知るができるよい機会となりました。

こちらの参加者の傾向としましては、講師から指定された動作ができる方が多く、ふだんから健康に気をつけている方に興味を持っていただけたというふうに感じました。課題解決の講座を実施すると、そのテーマについて既に興味を持っていて実践している方ですとか、意識の高い方が集まる傾向になっておりまして、今回もそのような結果になっ

たと思っております。参加された方には満足していただきましたので、よい講座であったと思うのですが、より必要な方にも届く方法を考えていきたいと思いました。

次に、高齢者対象事業から「三田寿大学」、11月に実施しました「国際交流講座 ペルーってどんな国？」についてご報告いたします。ページが11ページの中ほどになります。講師はペルー出身の公民館でスペイン語のサークル講師をしている方をお願いいたしました。ペルーの地理、観光、文化、料理など、幅広くお話しいただきまして、ペルーで行われているダンスの衣装や楽器なども展示していただきました。他国の文化を知るよい機会となりました。

次に、その他の事業からは、新規事業の「開館50周年記念事業 変面芸術の世界」についてご報告いたします。12ページでございます。三田公民館は昭和50年4月1日に開館いたしまして、50周年を迎えました。その記念事業として華やかな変面ショーをお祝いしまして、三田公民館を知らない方に公民館の存在をぜひ知ってもらおうということで実施いたしました。また、船橋市在住の外国籍の方で一番多いのは中国の方ということで、国際交流、国際理解の意味も込めて実施しております。

内容につきましては記載のとおりで、とても盛り上がりまして、参加した方に大変楽しんでいただきました。ショーの後にも変面の衣装を着けた出演者の方と参加者が一緒に写真撮影をしたり、交流がありました。アンケートでは、17名の方が初めて公民館を利用したと回答されていまして、目標の公民館を知っていただく機会となったと感じております。また、10代から80代まで幅広い年齢の方にお越しいただきまして、ふだん公民館の利用が少ない年代の方にもお越しいただくことができました。

次に、文化祭についてご報告いたします。12ページの下から13ページの上側にかけてでございます。2日間開催で、1日目は展示とスポーツ団体の発表、2日目は展示と音楽や芸能の発表を行いました。日曜日は雨が降っていましたが、午後から発表の団体も午前中から来て客席で見学していたりと、発表団体が一丸となって盛り上げる様子も見られまして、雨でしたが客席が埋まっておりまして。模擬店も両日とも盛況で、昼食の時間が来る前に完売しておりまして、販売個数の調整が難しいと考えているところです。この文化祭の一週間後にサークル活動体験会が始まったのですが、文化祭を見たことがきっかけで見学に来られた方もいらっしやいまして、よい時期に開催できていると感じております。

三田公民館からは以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、習志野台公民館長さん、お願いいたします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の期間内の事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業からですが、12月に「ハッピーサタデー事業」として、習志野台児童ホームと共催にてクリスマス会を開催いたしました。こちらは、当初の計画には載せておりませんでした。現在、公民館は工事休館中でございますので、児童ホームを会場として小学生を対象にクリスマス会を実施しました。当日はバルーンアートで、小学生に楽しんでいただけたかなと考えております。

続きまして、「職業講演会」を習志野台中学校1年生を対象に、習志野台中学校との共催にて開催いたしました。こちらは学校の各教室のほうに、生徒が講師を迎えに来るといような形式で、スカイセイラーズの野球選手ですとかお菓子教室の講師、また保育士、自衛官など、そういった職業の方を中心に開催いたしました。当日終わった後にも中学生から途切れないぐらいに質問がたくさんありまして、将来について中学生が考えることができるよい機会とすることができたのではないかと考えております。

続きまして、成人事業です。「リカレント教育（パーソナルカラー診断&眉毛の描き方講座）」についてご説明をさせていただきます。新規事業であり目玉事業でございます。

内容と評価に関しましては記載させていただいたとおりでございますが、講座の内容の進め方の問題もありまして、定員を12名で募集いたしました。こちらは抽選ですが、約70名の応募がありまして、参加者も30代～80代でした。各世代が幅広く、皆さん興味がある事業として実施することができたと思っております。

次に、15ページに参りまして、「まち探訪」でございます。こちらも習志野台公民館新規事業として今年度開催いたしました。郷土資料館との共催事業といたしまして、同館の職員を講師とし、地域の歴史や成り立ちを中心に説明しながら、習志野台地域、北習志野駅近隣を散策する講座として開催いたしました。評価などは記載のとおりです。

次に、16ページに参りまして、その他の事業として記載のとおり開催しております。なお、「就学時健診における子育て学習」の11月27日、習志野台第二小学校は、大塚委員長にご見学いただきました。ありがとうございました。

最後に、17ページにかけて「クリスマス親子コンサート」ですけれども、こちらも当初計画には記載しておりませんでした。小学生のクリスマス会と同様に、児童ホームと共催にて開催できるということで、児童ホームと一緒に実施しました。こちらは幼児の親子コンサートということになります。「ふなばしうたのわ」さんをお呼びいたしまして開催し、また100名を超える参加者があって、みんなでカスタネットを叩きながら子供たちと楽しんでいただけたかと思っております。

習志野台公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

次に、飯山満公民館長さん、お願いします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館です。よろしくお願ひします。飯山満公民館は18ページからとなります。

まず初めに、青少年事業、「クラブ活動支援」、「ハッピーサタデー事業」、「冬休み宿題応援企画 書き初め教室」を実施いたしました。

11月29日に実施した「ハッピーサタデー事業」のクリスマスランチパーティーはバターチキンカレーとラッシーをつくって、子供たちがつくったものを親子で食べました。

「冬休み宿題応援企画」の参加人数の記載をお願いします。参加人数は23名になります。評価といたしましては、顧問の先生と生徒たち及び参加者は大変満足していました。高校生にとっても、小学生に教える機会は少ないので、参加者、指導側、双方が満足できる事業となっており、来年度も実施したいと考えております。

次に、成人事業になります。「パパママもハッピーサタデー」は、新規事業となります。1回目は、「自然素材とカラーに癒されるボタニーペインティング体験」、10月11日にハロウィンカップケーキづくり、11月29日にはクリスマスのマクラメタペストリーを作成いたしました。こちらにつきましては、ハッピーサタデーと同じ日に開催することによって、子供の送迎の合間に自分も楽しめたという感想をいただいております。

次に、「就学時健診等における子育ての学習」です。こちらは、飯山満小学校、飯山満南小で実施しております。スクールカウンセラーの方が子育てのアドバイスを行いました。アンケートでは「とても参考になった」という感想をいただいております。

その次、「はさま建物探訪」は、今年度は港区の白金台付近の散策をしております。人気のある講座となっておりますので、来年度も実施する予定でおります。

次に、「お正月を手作りミニ門松で迎えよう」になりますが、毎年応募が多い人気の講座となっております。公民館を利用するのが初めてという若い利用者がいたことを高く評価している。

次に、「はさまロングウォーク」になりますが、当日雨でしたが、事前案内で小雨決行と書いてありましたので決行しましたが、結構大雨が降ってきてしまったので、来年度は雨天の場合は中止するような検討が必要かなというふうに考えております。

高齢者になります。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」等は記載のとおりとなっております。

「飯山満寿大学」です。12月18日、参加人数の記載をお願いします。こちらは65人になります。

次に、「シルバー男性料理教室」等は書いてあるとおりです。

「総合型介護予防教室 ゴーっと元気！健康教室」につきましては、保健所の健康づくり課と共催し、皆さん楽しそうな体操をしておりました。

次に、その他事業としまして、「飯山満公民館文化祭」になります。こちらは延べで約2,600名の方が楽しみました。当日については天候にも恵まれ、サークルの発表、模擬店等、にぎわっておりました。参加団体が少なくなってきているので、その辺の課題等がご

ございます。

最後に、「本館家庭教育セミナー」になります。こちらは、次ページの22ページを見ていただくと、講師は日本性の健康協会 あみちえさんという方をお願いして、飯山満小学校で授業を行っていただきました。人間が生まれる確率や命の大切さについて児童に話したところ、「6兆分の1というのが印象に残った」という感想がありました。1月9日に飯山満南小で同じ先生に「いのちの授業」をやっていただく予定となっております。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

最後に、薬田台公民館長さん、お願いいたします。

○薬田台公民館長

それでは、薬田台公民館の当該期間に実施いたしました事業についてご報告いたします。

まず、青少年事業から、「ハッピーサタデー推進事業」ですが、12月13日に実施いたしました書き初め教室について報告いたします。こちらは23ページの上のほう、一番最初です。この講座は、令和5年度から高校との連携事業として始めて、今年3年目となります。薬園台高校の書道部員6名が、小学校3年生から6年生、計38名に書き初めの指導をいたしました。午前は小学校3・4年生、午後が小学校5・6年生と対象を分けて2部制で行っております。まず、学年ごとに分かれ、高校生が注意するポイントを説明しながらお手本を仕上げ、参加者は各自書き初めをして、書き終わった人から手を挙げて高校生に見てもらい、そして、その中で一番の作品を一緒に選んでいきました。参加者からは「楽しく書き初めができた」とか、「高校生の説明が分かりやすかった」など、年代に近い高校生との交流が図れたものと考えられます。「一つ冬休みの宿題が終わりました。ありがとうございました」と親世代からも好評でありました。

次に、成人事業の豊田梨園五代目、豊田大輔氏講演会「美味しい梨の秘密」でございます。こちらは昨年度中止となった事業で、今年度は体調を整え、改めて同内容にて実施することができました。定員は30名としておりましたが、昨年度申し込みをいただいた方にもお声かけをしたため、40名の参加となりました。梨ができるまでの過程やおいしい梨園の見分け方など、事細かく面白おかしく講演いただいたので、あっという間の時間でした。参加者からは「梨農家の苦労と工夫がよく分かりました」など、名産品でもある梨のことを知る機会になり、非常に好評でした。

続きまして、一番下、「本館家庭教育セミナー」になります。24ページです。ハンバーガーづくりにハワイアンリトミック、ハーブティーを楽しんだり、忍者になったりと、多岐にわたる事業を実施いたしました。その中で、「ハーブブレンドティーを楽しみながら子育て座談会」につきまして報告いたします。参加人数の修正をお願いいたします。11

月5日、12名になります。

ふだん子育てでゆっくりする時間がない親御さんへ癒やしの場を提供することを目的に、保育つきでこちらを行いました。初めは集まりが悪く、なかなか集客できませんでしたが、何とか定員を集めることができ、お子さん自体も、初め引き離すときは大泣きをしていたのですが、時間とともに慣れ、元気に仲良く遊んでおりました。親御さんはハーブブレンドティーの香りに癒されながら、同じ子育ての悩みや何でもないおしゃべりをして、ふだんのストレスを発散していたように見えました。子育て中の人がつながったり、情報交換できる場を提供することにより、親の孤立や精神的負担を軽減し、喜びや生きがいを感じながら、より楽しく子育てができる貴重な癒やしの時間を提供することができたと思います。

続きまして、「スマートフォン講習会」の「触って覚える！スマホの基本と防災の備え」ですが、こちらの人数を申し上げます。14名の参加となりました。

続きまして、25 ページの「寄せ植え講座」です。薬園台高校の園芸科との地域交流を狙いとして、こちらも3年目の開催となります。寄せ植えの鉢が重いため、公民館内のチラシとポスターのみの近隣住民重視の情報発信といたしましたが、募集開始から30分で定員に達してしまいました。薬園台高校を会場として、園芸科の生徒が育てた葉ボタン、ビオラなど5株を選び、生徒たちのアドバイスを受けながら鉢に植えました。高校生と楽しく会話をしながらの体験となり、参加者からは「学生たちとの交流がいいですね」とか、「一昨年参加してとても有意義で、苗は春まで成長。幸せでした」などリピーターもいて、地域交流の場を提供できたと感じました。

次の「クリスマスのお菓子作り」のクリスマスケーキ作りは、参加人数が20名となります。このクリスマスのお菓子作りですが、薬園台には珍しく若者の参加が多数あり、しかもお友達との申し込みではなく一人一人の参加のため、友達づくりとクリスマスのお菓子づくりを体験することにより、新たな活動を始めるきっかけになることや、若い世代に公民館を知っていただくよい機会になったと思います。

次の高齢者対象の「やくえんだい福寿大学」、「ベトナムの文化に触れる」の参加人数は74名になります。

その下、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の12月23日は、39名の参加になります。

次、26 ページ、「薬園台ふれあいコンサート」です。暑い時期の開催でありましたが、スティールパンの音色は優しくて、秋の訪れを感じさせる透明感のある響きで、癒やしの時間となりました。スティールパンは打楽器、ギターは弦楽器と、異なる2つの楽器が奏でる音色は心地よいハーモニーとなり、夏の疲れを癒やしてくれました。幼なじみのゆるゆるサウンドデュオのトークも楽しく、参加者からは「幼なじみのほのぼのさが伝わってきてよかったです」とか「2人の楽しそうな演奏、とてもよかったです」、「息ぴったり

トークも楽しく、リラックスして聴くことができました」など、演奏者に対しての感想もたくさんありました。

「第33回やくえんたい文化祭」ですが、文化祭の日は10月11、12日でしたけれども、前の週の土曜日に開催されました卓球、囲碁、ダンスの発表会と、当日2日間の発表の部27団体、展示の部12団体、催し物・模擬店8団体で、総数3,586名の来場がありました。こちらは3連休と重なったことや文化祭の1日目が雨だったことで来館者に少し影響が出ましたが、昨年よりも少し人数が少ないだけで、参加団体が多い中、皆さんの協力のもとトラブルもなく多くの方に楽しんでいただけました。

続きまして、「福祉まつり」になります。当日は朝から雨が降っており、出足が心配されましたが、開始前から来場者が品物を手に取って並ぶなど、この祭りの人気うかがえました。薬田台地区社協が主となり、地域の多くの団体が協力し、「つなぐつながる地域の輪」をテーマに開催となりました。当日は若いボランティアさん、中学生11名、高校生4名も加わり、まさに地域でつながりつくり上げた祭りとなり、地域の方に喜んでいただけました。今年も牧野委員さんが出店されたドーナツは、ふわふわしておいしくて大人気でした。私も1つしか食べられませんでした。

薬田台公民館からは以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

全公民館から報告をいただきましたが、委員の皆様、ご質問またはご意見がございましたら、挙手していただいております。

加瀬委員。

○加瀬委員

東部公民館さん、1ページ目のハッピーサタデーですけれども、バスハイクの集合が薬田台公園。あそこしか場所がないかなと思いますけど、参加費はおいくらなんですか。

○東部公民館長

4,000円集めさせていただきました。

○加瀬委員

それぐらい要りますよね。

それと、3ページの「地域交流講座」は、私3回顔を出させていただきましたけれども、今回この交流講座はすばらしかったですね。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○加瀬委員

3つとも。中島先生は毎度のことなんだけど、コックさんも頑張ってください、いい声が出ていましたよね。

○東部公民館長

そうですね。この組み立ては、やはり前原地区社会福祉協議会の皆さんに企画から運営に至るまでご協力いただいたおかげでございます。ありがとうございました。

○加瀬委員

それと、もう一つ、飯山満公民館だったかな、20 ページ、「シルバー男性料理教室」ですけれども、これは生徒さんが食材の買い物もされるんですか。

○飯山満公民館長

食材をまとめて担当の方が運ばれます。

○加瀬委員

生徒さんではなくて、先生が。

○飯山満公民館長

生徒です。

○加瀬委員

生徒が買い出しに行かれるんですか。

○飯山満公民館長

はい。

○加瀬委員

実は、東部も今年から生徒さんに買い物もお願いするようになったんですが、意外とうまくやるんですね。ボランティアはついていきますけれども、結構家でやっているのかなというふうな感じで、いい具合で買い物をしてくるので、東部もやってみてよかったかなと思っています。

ありがとうございます。以上です。

○大塚委員長

ほかにありますか。お願いいたします。

○本間委員

全館、全て福祉まつりとか文化祭で結構参加者が多かったのはよかったかなと思います。さっきもバスハイクで 4,000 円というのがあったけれども、鴨川シーワールドはうちの卒園児が 2 年前にそこで仕事をして、去年はうちの子供たちも遊びに行ったので、よかったかなと思っています。

それと、東部も習志野台もそうですけれども、中学生の職業講演会というのは、県警とか交番とかいろいろな人がいるけど、選択肢の中に、今回、福祉施設として恩寵園の職員と、あと船橋に青い鳥ホームがあるんですね。そこで働いている職員、これはみんな新人なのか、それともベテランが話しに来るのか、どちらでしょうか。

○東部公民館長

前原交番については、若い警察官の方をお願いしているところでございます。今回イオ

ンの店長さんにもお越しいただきました。

○本間委員

では、バランス的に新人あるいは中堅とか上司というふうなバランス。8人がこの時間帯に10分とか20分ずつ話すんですか。

○東部公民館長

今回、東部公民館の場合、9人の講師にお願いしました。というのは、2年生が9クラスあるんですね。9クラスあって、子供たちには興味のあるところをまず選んでもらい2部構成ですので、前半終わったら、次の後半は、また興味のあるところに行ってくださいということ。

○本間委員

子供たちが移動する。

○東部公民館長

そうです。そういった構成で開催させていただきました。だから、子供たちは2本の講演を聞くことができる。

○本間委員

今、施設の職員が大変な状況で少ないので、ぜひ参加して、1年生になったばかりの新人さんが行って、私はこういうことで養護施設で仕事しているんですよとか、青い鳥ホームの母子ホームで仕事していますというのをちょっと聞いていただくと、とってもいいかなというのがあります。

一番難しいところは、二宮中はうちの子供が通っていて、虐待児が結構多いので、職員が子供たちこういうネグレクトですとかというのは、ちょっと言えないのかなと思うので、そこは二宮は避けてほしい。ほかはいいかもしれないけど、ぜひやってほしいというのはあって、青い鳥にも声をかけていただけるといいのかなと思っています。選択肢に悩んでいるみたいですので。

施設で仕事をする意識のある職員はいっぱいいるんですけども、なかなか来てくれないので、本当につらい思いはしております。ぜひうちのような児童養護施設の職員とか母子ホームの職員も選択肢の中に入れていただけると、とてもいいかなと思います。

今まで施設があったのを知らなかったということで、前原辺りに住んでいたら児童養護施設も知らなければ母子ホームだって知らないはずなので、ぜひそういうところも知ってほしい。船橋で就職すれば奨学金の返金だって楽になるので、そういうところもありますよなんて声をかければ、ひょっとしたら来るかもしれないので、いいのかなと思っています。薬田台でもやる予定かもしれないけど、ちょっとそこは二宮中学校が入っているので、職業の選択肢の中ではうちの職員は行けないのではないかと気にはしています。

それから、青少年とか成人の事業では、評価が書いてあればそこも見ながらチェックできるかなと思ったけれども、書いていないところもあるので、なるべく書いてほしいなど

というのが全体のお願いしたいところです。

それから、薬円台でコンサートをやったときに冷房の音がちょっと大変だったみたいだけど、そういう古い施設ってすごい音がするんですよね。悪いけど。だから、その対策は本当にしてあげないと、やっているほうの気持ち的にも、それから聴くほうも「うるさい」と思いながら聴いてしまうので、そこはやっていただきたいなというのがあります。ちょっと検討していただきたいなと思っています。

それから、14 ページのパーソナルカラーの診断というのは、女性の方が多いんですか。

○習志野台公民館長

そうですね。女性ですね。

○本間委員

女性が対象ですか。

○習志野台公民館長

対象を絞ってはおりませんが、参加者は女性のみでした。

○本間委員

今の時代に合ったジェンダーだって結構いっぱいいらっしゃるんで、世界に合うようにしていくのも。

○習志野台公民館長

特に対象を絞ってはいませんが、申込は女性のみでした。

○本間委員

それから、13 ページ目のおひさまクラブで、「参加者の人数が少ないため、広報に工夫をして参加者を増やしていきたい」というふうに書いてあります。ここは三田公民館ですね。私、市川の広報の LINE に入っていて、私の年齢だと認知症の講座がありますよ、骨密度の講座がありますよというのがあって、そのたびに、見ながらできる。

やっぱり今は広報を見ないから。この間も SNS を生活に生かす講座もありますよというから、ちょっと申し込んで行ったことありますけど、今はこの時代、この季節だから、心の健康相談というのが入ってきている。本当にこういうのを身近にやっていただくと、あるんだなというのがあって参加しやすいかなと思っています。

私、市川市の広報の LINE に入っていますけれども、本当に今はそうやると増えてくるのかなと。どういう分類でやればいいのか東部の5館と一緒に何か考えて、ここをつくってみて押してやるのもいいのかもしれない。私は市川だから市川市の全体の講座というのがあって、今日は国府台公園で野球教室がありますよという、これは少年たちが対象とか、年齢層に応じて見ながらやらせていただいています。本当に身近な情報がすぐ飛んできます。

今後はそういう行動をしていかないと、ここの参加者が4人というのがちょっと寂しい。でも、少なくとも充実する感じはあります。私ベビーマッサージも教えていたんです

けど、少人数のほうが充実した仕事ができることもあります。今後も時代に即したやり方で人数を集めていかないと大変ではないかなと思っています。せっかくやるならそういうことも考えてやっていただくといいのかなと思っていますので、ぜひ時代に沿ってやっていただきたいと思っています。これからは市のほうも検討していかないと人集めが大変かなと思いますので、ぜひお願いしたいなと思っています。

○三田公民館長

ありがとうございます。

○本間委員

それから、ちょっと知り合いのあみちえさんの性教育はいいと思うので、ぜひ呼んであげてください。

以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

ほかに何かご意見。はい、どうぞ。

○牧野委員

今のとちょっと関係があるような気がいたしますけれども、三田さんのところの50周年のところ、12ページです。10代から80代まで年齢層の幅のある参加者があったというとてもいいことと、それから、25ページの薬円台のクリスマスのお菓子づくり、若者の参加が単独で多かったというお話を伺いまして、これはどうしてこのようなことが、今の市川のようなアプリがないにもかかわらず出てきたのか。何か分析されましたかしら。

○薬円台公民館長

いいえ、分析はしていません。いつも公民館のところにチラシを置いて、持っていつでもらうという形ですが、今回はお菓子づくりだったからなのか、10代の中学生が3人とか、結構若い世代。いつもは60代～70代が多いんですが、10代、20代、30代、40代まで結構いらっしゃいました。

○牧野委員

ということは、企画のよさですかね。

○薬円台公民館長

これはたしか広報にも出たんです。クッキーづくりとケーキづくり両方で3,500円なんですが、値段も両方で3,500円とちょっと手頃だったのか、そこは分析はしていませんけれども、若い世代が多かったです。

○牧野委員

よかったですね。三田さんもいかがですか。

○三田公民館長

三田公民館のこちらは、変面ショー自体が人気がありまして、なので広報を見てお電話

をくださった方がほとんどで、三田公民館は住宅地の中心にありますので、交通手段を知らない方が、まず申し込みをして、「ところで、どういうふうに行ったらいいですか」というふうに聞いていただいて、本当に三田に来たことがない方もいっぱい来ていただきまして、やはりこの変面ショーの力で来ていただいたと思っています。

○牧野委員

あれは何か分からないですね。

○三田公民館長

分からないですね。近くで見ても仕掛けが分からない。

○牧野委員

分からなかったですか。そうですか。

それで、27 ページですけれども、福祉まつりのときに中学生のボランティアがたくさん来ていましたという話を伺いました。確かに11名というのは今までになく多く参加しているなと思いました。顔見知りの子も来ていたので、うれしいなと思って見ておりました。

以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

ほかにご意見。お願いします。

○蠣崎委員

各公民館さん、文化祭は1,000人単位での来場者があったというふうに伺ったのですが、飯山満公民館の館長、当日、私も模擬店のほうで協力をさせていただいて、ほぼほぼ朝から午前中終わるまででしたが、21ページの1,845名の参加人数のカウントってどういうカウントの仕方をされているのか。というのは、肌感的に1,800人もいらしているという感じがなくて、私たちも趣味の会で食べるものをつくって販売していましたが、みんなで「今年って来ていないよね」という話をしていたので、後からご報告いただいて1,845の数字を見たときに、どこから来ていたんだろうというふうに思ったんですよ。団体の方も、自分たちの発表が終わるとそそくさと帰っていつているのを結構見かけていたので、本当にあのとき1,800人もいたのかなと思って、すみません、責めているわけではないんです。

○飯山満公民館長

カウントの仕方につきましては、発表会場は座っている方の数を数えました。ですから、団体ごとに数えているので、ずっといられる方は延べ人数なのでダブルカウントになってしまう可能性はあります。あと、模擬店等は販売個数、1人で2個買ったなら2人になっちゃうんですけど、人数的には数えられないので、販売個数という形で人数のほうをカウントしております。

○蠣崎委員

隣で焼きそばも出ていたんですけど、焼きそばも全部焼いちゃうとヤバいねという感じで、売れてなくなりそうになるともう1セット焼こうという感じだったんですよ。私たちの混ぜ込みごはんも、残ったら大変だと思って40個ぐらいまとめて別のほうへ回したり、それでも最後はたたき売りみたいになってしまいました。ありがとうございました。その辺のからくりが分かれば納得できるので。

○大塚委員長

はい、ありがとうございました。

ほかに。どうぞ、お願いいたします。

○今井委員

東部公民館さんの1ページ目の一番下の職業講演会については、前原中学校の校長なんですけれども、ありがとうございました。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○今井委員

習志野台公民館さんの14ページの職業講演会もそうですけれども、たくさんの講師を呼んでいただくというスタイルが今いいのかなと、やっていただいていると思います。一人の講師の方だと、どうしても子供たちのニーズに合わなかったり、本当に自分の興味のあるものじゃないのになと思いつつ聞くよりは、ある程度数が、教室の数でやっていただいているので、2部制にもしてもらっていますから、第1希望に漏れても第2希望で入る可能性も高いし、そういった意味では非常にありがたいなと思います。

経験年数の話もさっき出ていましたけれども、年配の方がいて、勤めてすぐの方がいたり、男の人がいて女の人がいて、いろんな人がいていいのかなと。歳が若ければ、それなりのなったばかりの苦労とか子供たちと世代が近いということと、年配の方だったら今までの長年の経験からというお話もあるでしょうし、異年齢という点でも子供たちには新鮮かもしれないし、そういったところで非常にありがたく思っています。今後ともよろしく願いできればと思います。

あと、8ページ一番下の市民の会の音楽会も、会場でお世話になりましたけれども、本当にたくさんの地域の方を呼んでいただいて、感謝の気持ちということで館長さんからありましたけれども、もちろん感謝の気持ちを込めて演奏するんですが、子供たちにとっては本当にいい発表の場で、高齢者の中には自分たちのおじいちゃん、おばあちゃんも入っていたり、小学校のときにスクールガードでおはようと言ってくれていた人たちの顔もあるし、幼稚園の先生が来ていたり、いろんな方たちにそういう感謝の気持ちが伝えられるので、ぜひ続けていただけたらなと思います。

ただ、残念なのは、上手な3年生が引退しちゃっている時期なので、今、うちの2つの

管弦楽部とギター・マンドリン部は非常に脂が乗っている、非常にいいところまで各コンクールで行ってしまっていて、今も最終選考に残っていて、1月25日の発表待ちで、全国トップが取れるか取れないかというのが2チームあって、本当にそれを聴かせてあげられたらと思うのですが、受験前なので引退しちゃうんですね。でもあんまり早めたら今度はほかの行事との兼ね合いで入らないかなと。機会があればいろんな方にそういうのも届けられればなと思いました。

あとは、27ページの薬園台高校さんです。薬園台公民館さんということで薬園台のほうをすごく活用しているのがやっぱり地域の特色で、ほかの地域もそうだと思うのですが、その地域の特色で歴史散歩的なものとか、そういったものを取り入れているのは高齢者にとっては健康にもいいだろうし、興味関心も高いと思いますし、非常にいいなと思いました。これからもぜひ続けていただければなと思いました。

薬園台高校は、船橋市内に公立高校がたくさんありますけれども、芝山高校と薬園台高校には弓道部があるので、弓道なんかをちょっとやってみたら、船橋市民じゃないですけど参加したいと思うぐらい、ちょっとやってみたいなと思いました。個人的な意見ですけども、どうもありがとうございました。

○大塚委員長

ほかにご意見ある方いらっしゃいませんか。

それでは、公民館事業報告について採決をとらせていただいでよろしいでしょうか。

○東部公民館長

委員長。東部公民館の事業を報告させていただいた中で、8ページの一番上、昨日開催いたしました「子どもいけばな・茶道教室」、16名の子供たちの参加がありましたこと報告します。

○大塚委員長

それでは、ただいまの公民館事業報告について採決をとらせていただきます。

東部ブロック公民館の事業報告につきまして、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

○大塚委員長

全員挙手でございます。ありがとうございました。各公民館からの事業報告についてご承認をいただきました。

続きまして、次第(2)の「公民館事業計画(12/25～3/31)」について、東部公民館長さんより順次説明をお願いします。委員の皆さんのご意見は、全公民館のご説明を受けてから頂戴いたします。

それでは、東部公民館長さんからお願いいたします。

○東部公民館長

資料 28 ページからでございます。よろしくお願いたします。

東部公民館事業計画につきまして、まずは 28 ページの上の段、青少年の「ハッピーサタデー事業」のうち、2 月 21 日開催予定の「子ども春まつり」についてでございます。例年 2 月に「子ども春まつり」を開催している中で、いつも前原児童ホームを会場として実施しているのですが、改修工事のため、今回につきましては東部公民館で開催する予定で進めているところでございます。運営形式は実行委員会方式でございまして、地域団体の皆様と実行委員会を組織いたしまして、ガールスカウト、こども劇場、中野木小学校父母会の方々に集まっただいて、2 月 21 日の開催を目指して現在出し物について調整を進めているところでございます。

続きまして、29 ページ、これは成人事業でございますが、上から 2 つ目、「自宅にしながらリフレッシュ～オンラインでリラックスヨガ～」についてでございます。去年の実施に続きまして、今年度も 12 月 26 日、明日が第 1 回目ということで、全 5 回講座で「オンラインでリラックスヨガ」を開催するものでございます。講師はこの公民館の会場で指導していただき、オンラインで結んだ中で、参加者は自宅にしながらリラックスヨガを体験できるものでございます。去年は 3 回講座として開催した中で、自宅にしながら気を使うことなく映像を見ながら体験できると大変好評をいただいた中で、今回については回数を 2 回増やしまして 5 回講座としました。「ぽっこりお腹」と書いてありますけれども、お正月太りを解消することも含めまして、お正月を挟んでの講座を開催するものです。先ほどまでオンラインのテストも事務室で進めている中で、明日の開催の準備を進めているところでございます。

続きまして、31 ページの「東部地区公民館 5 館合同事業」でございます。「『魔法のリノベ』漫画家が語る漫画と地元船橋とリノベーション」についてお話しさせていただきます。5 館合同事業、東部地区の全公民館の合同事業として企画運営するものでございます。

まず、皆さんこちらの漫画本を見ていただくのですが、この「魔法のリノベ」という漫画がございます。星崎真紀さんということで、船橋出身の漫画家でございます。この漫画の内容は、住宅のリフォームをテーマにしたお仕事漫画でございます。世主の家族が抱える家の問題とか人生の問題を、自宅のリフォームを通して解決する物語で、大変人気のある漫画であり、作者であるということでございます。船橋の出身ということもございまして、今回 2 月 1 日に東部公民館にお越しいただきまして、船橋の魅力をお話ししていただいたり、リノベーションの視点から家や生活について満足度を向上させるきっかけにしようということ、また、空家対策についてもリノベーション、要はリフォームすることによって対策につながる観点についてもお話をいただけるということで進めているところでございます。

続きまして、その下、「『地域ふれあいコンサート』懐かしの昭和歌謡から魅惑のジャ

ズまで熟女ちんどん楽団『JJ ジャコウズ』の歌謡オンステージ」、これは船橋音楽フェスティバルの一環として、東部公民館では2月14日に開催するものでございます。このJJ ジャコウズの演奏につきましては、令和2年2月（令和元年度）にお呼びして開催する予定であったのですが、コロナ禍で全公民館が休館等の対応が求められた中で公演ができなかったということで、今回改めて2月にお呼びして開催する運びとなったものでございます。昭和の懐かしい歌謡メロディーをちんどんで発表していただくという内容でございます。

東部公民館からは以上でございます。

○大塚委員長

ありがとうございました。

続きまして、三田公民館長さん、お願いいたします。

○三田公民館長

それでは、三田公民館の事業計画についてご説明いたします。

33 ページになります。青少年事業、「ふなばしハッピーサタデー事業」につきましては、資料のとおり実施いたします。

続きまして、成人事業からは「多文化共生講座・ベトナム料理講座」についてご説明いたします。33 ページの下から2番目の講座になります。第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画のリーディングプロジェクトの一つであります共生社会の実現のための取組として実施いたします。船橋市の国際交流課所属のベトナムの国際交流員の方を講師にお迎えいたしまして、生春巻きづくりを行います。パクチーなどを加えた本場の生春巻きの作り方を教えてもらいまして、ベトナムの食文化に触れる機会としたいと思っております。

次に、「世界を知ろう！～世界遺産の魅力～」についてです。33 ページの下にタイトルが入っておりまして、34 ページが内容になっております。定員 20 名と記載しておりますが、35 名に変更になりました。講師が監修しました映像を見ながら、日本の全世界遺産を巡る講座となっております。

次に、高齢者対象事業につきまして、「三田寿大学」の3月に行う体操教室について説明いたします。寿大学は同じく 34 ページ中ほどのところがございます。体操講師の多胡肇さんを講師にお迎えいたしまして、ラジオ体操をはじめ、高齢者の体の状況に応じた適切な運動方法を教えていただきまして、実際に体を動かして体をリフレッシュできる講座を行いたいと思っております。多胡さんは1999年から2022年まで、NHKのテレビ・ラジオなどで体操指導者として活躍されまして、子供から高齢者まで幅広い年齢層の方が気軽に楽しめる健康体操の講師をされております。

次に、「認知症予防講座～楽しい脳トレ&体操講座～」についてですが、34 ページ下のほうにございます。こちら未定となっておりますが申し上げます。1日目は認知症予

防、2日目はフレイル予防、3日目はオーラルフレイル予防、4日目はロコモ予防のゼミナールということに決定いたしました。人数は30名と表記されておりますが、24名で決定いたしました。健康づくり課との共催事業となっております、昨年度も同様の内容で行っております。ホームページに記事を掲載する際には、ただいまの口頭で申し上げましたことを記載させていただきます。

続きまして、その他の事業から、「バレンタインデーに贈ろう♪マカロン作り」についてご説明いたします。35ページの中ほどの講座となります。こちらは新規事業となっております、様式5事業計画シートの13番目の事業となっております。公民館を利用する人が少ない年齢層と言われております20代から50代に公民館を知っていただくことが今課題となっております、それに対する講座として当初計画したのですが、今回はさらに年齢を下げまして、中学生以上の方を対象に、中学生同士でも親子でも、また地域の大人の方のみでの参加もしていただけるように考えております。地域の中での異世代交流の場になってもらえたらと考えております。

内容ですが、バレンタインデーにちなみまして、チョコレートガナッシュを挟んだマカロンづくりを行います。マカロンは形状が可愛らしくて、食用色素で色づけをするカラフルなお菓子ですので、今、若い方にとっても人気です。それを手づくりする楽しさを体験していただきまして、バレンタインデー当日に行う講座でもありますので、すぐにプレゼントできるようにラッピングもしてお持ち帰りいただく予定です。こちらは10個から12個ぐらいつくれまして、1,300円の予定となっております。

次に、「三田ふれあいコンサート」についてご説明いたします。35ページの一番下になっております。文化課主催の音楽フェスティバルの中の一つであります「地域ふれあいコンサート」は、地域の方が身近な場所で気軽に上質な音楽を楽しめる場として開催されておまして、三田公民館は2004年から参加しております。今回は塚田のコックさん合唱団と櫻井淳さんをお迎えしまして、男性合唱のコンサートを行います。先ほど報告のほうで東部公民館でも合唱団のお名前が上がってございましたが、コックさんの衣装で歌う姿が印象的な合唱団となっております、塚田地区の男性料理クラブから生まれたという男性合唱団となっております。また、櫻井淳さんは塚田のコックさん合唱団の指揮者、指導者をされておまして、テノール歌手でいらっしゃいますので、ぜひ歌声を披露していただきたいと思っております、今お願いしているところです。昨年は三山市民センターが外壁工事中のため三田公民館での開催となりましたが、今年度はまた三山市民センターでの開催を予定しております。

三田公民館の事業計画については以上となります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

次に、習志野台公民館さん、お願いします。

○習志野台公民館長

習志野台公民館の記載の期間の事業計画をご説明いたします。

習志野台公民館は、工事休館中でございます。3月に向けて戻る準備がございますので、こちら1ページのみとなっております。

成人の事業といたしまして、「コーディネーター講座」でございますが、こちらは習志野台地区の生涯学習コーディネーターの方と企画運営から決定いたしまして開催しております。今回は、「街道と水路がつなぐ千葉と江戸」と題しまして、深川の散策を行います。初回は座学で深川周辺の知識を深め、2回目に清澄庭園や深川江戸資料館など深川周辺を散策する予定でございます。毎回コーディネーターの方といろいろな企画をたくさん出して、その中から選定して、コーディネーターと話し、決定して開催しております。なお、先ほどお話ししましたように、工事休館中のため、初回の座学は、東部公民館の集会室をお借りしまして開催予定となっております。

そのほかは記載のとおりでございますが、「家庭教育セミナー」の定員でございます。当初20組で予定してございましたが、こちら増やして大丈夫だということで、25組で募集する予定でございます。

習志野台公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

次に、飯山満公民館さん、お願いいたします。

○飯山満公民館長

飯山満公民館です。37ページからとなっております。

青少年事業の「クラブ活動支援」は、記載のとおりあと2回実施いたします。

「二宮中学校職業講演会」になりますが、こちらはイラストレーターの森さん、スイートアート作家の鵜澤先生をお招きして、二宮中学校でお話ししていただく予定となっております。中学1年生を対象にしております。

次に、「ハッピーサタデー事業」は、「トランペットとサクスのコンサート」と、3月1日に「はさま子供まつり」を実施する予定になっております。こちらは地域の諸団体の方と協力して実施いたします。

次に、成人事業になります。こちらは新規事業として「今日から始めよう！Dance with Music♪」ということで、ダンスインストラクターの湯浅先生に全3回を実施していただきます。

その次、「ビトさんに教わるボリビア家庭料理教室」、こちらも新規事業になりますが、ボリビア出身のビトさんにボリビアの文化と家庭料理、こちらは辛くないチリパスタとスクランブルミートライスの調理をしていただく予定となっております。

次に、「日本最大の採石場と日本最古の酒蔵をめぐるバス研修」になります。こちらは

いろんな見積り等を取ったのですが、物価の高騰等により参加者の負担が1万円近くになってしまうので、今年度は中止とさせていただき、事業についてはもう一度考えたいと思っております。中止となりまして申し訳ありませんでした。

その後は高齢者事業になります。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「飯山満寿大学」については記載のとおりとなっております。

次の「ゆびとま子育てサロン」も記載のとおりです。

「本館家庭教育セミナー」については、先ほど申しましたように、あみちえ先生に飯山満南小学校でいのちの授業をしていただく予定となっております。

飯山満公民館からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、薬円台公民館さん、お願いいたします。

○薬円台公民館長

薬円台公民館の事業計画についてご説明させていただきます。

まず、青少年事業でございます。「ハッピーサタデー推進事業」といたしまして、児童ホームを使用して、1月に「獅子舞ショー」、3月には「やくえんだい子どもまつり」を実施いたします。獅子舞ショーの講師でありますたかね乱れ囃子は、高根台公民館を拠点として高根台団地や周辺地域の夏祭りで活動している団体です。団員自体は現在24名ですが、女性がほとんどの団体となっているそうです。この団体さんの和太鼓と獅子舞に参加者たちがどんな反応をするのか楽しみです。

続きまして、40 ページの一番下です。「やくえんだい福寿大学」の中で修正をお願いいたします。1月20日の新春演奏会で、尺八と三味線となっておりますけれども、三味線ではなくて箏に変更となりました。尺八と箏になります。修正をお願いします。

次の41 ページ、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は月1回、次の「介護予防事業」は記載のとおり4回シリーズで、1月から2月にかけて健康づくり課と共催で開催いたします。

最後に、一番下の「ふなばし音楽フェスティバル薬円台地域ふれあいコンサート」です。こちらは声と古楽器が奏でるバロックミュージックになります。声楽家・バリトン歌手の春日保人さんとバロック・ヴァイオリンという弦楽器奏者の丹沢広樹さんとチェンバロ奏者の春日万里子さんの3名となります。この異なる楽器が合わさり、どんなメロディーを奏でてくれるのか、今から楽しみです。

薬円台公民館からは以上になります。

○大塚委員長

ありがとうございました。

ただいま、全公民館さんからご説明いただきましたが、委員の皆様、ただいまの説明つ

いて、ご質問またはご意見がございましたら挙手をお願いします。いかがですか。
お願いいたします。

○今井委員

三田公民館さんの 33 ページ一番下のベトナム料理講座とか、飯山満公民館さんの 38 ページのボリビア家庭料理など、世界の国のいろんな料理に取り組むというのはすごくいいなと思っています。というのは、学校でもやはりいろんな国の子が船橋市内にもたくさん住んでいて、うちの学区だとネパールの方が少しずつ増えていて、同じ国の人たちがコミュニティをつくって呼んでいらっしゃるのかなと思う感じで、また転入生が増えているんですけども、市内全体ではベトナムの子たちが増えていて、ベトナム語の指導ができる先生がいない。全国的にそうらしいです。

ベトナム料理というのはすごくいいと思うのですが、そういう現状がある中で、その地域に住んでいる人たちが食べている料理を、日本人の舌に合うようにちょっとアレンジできて料理教室なんかができたらいいなと常々思っていて、今まで自分が勤めていたところでは、給食でそれを提供しようよと。ブラジルの子がなじめないのだったら、ブラジルの子がなじめるように、クラスの中でヒーローっぼくなれるようにブラジル料理を出して食べ方言わせてらどうかとか、そんな形でやったりして、きっかけをつくってあげていることもあります。必ずしもその国の料理が日本人みんなに受け入れられるのかどうかというのは分からないところもあるのですが、すごくいい取組だなと思っています。どんどんいろんな国の人が増えてくる中で、やっぱりこういう取組をしていかなければいけないのかなとも思うし、そういうことによって、日本人だけではなくて、共生社会という話もありましたけれども、みんなが住みやすいコミュニティづくりができればいいかなと思っていますので、大賛成です。

○大塚委員長

ありがとうございます。ただいまのお話も、今後のことを考えて、やはり聞くだけではなくて、そういう方向がこれからも出てくるとするならば、その辺も考えながらやっていくことも大切かなと思います。皆さんのご意見を入れながら、東部地区の公民館全てが、やっぱりいろんな国々の方が国内にいるわけですから、そういう点でひとつ考えていただければいいかなと思っています。安易にやるのではなくて、子供たちがいろんな世界に羽ばたくということも考えられますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

ほかにご質問はないでしょうか。お願いします。

○本間委員

36 ページの習志野台、成人のところに「コーディネーター講座」と書いてあるのですが、これはコーディネーターさんが全部やって、公民館の職員は参加しないんですか。

○習志野台公民館長

いいえ、最初から全部関わります。企画から一緒に入って、行くのも行きますし、下見

も行きます。コーディネーターさんが主体となり話して決めてという形です。

○本間委員

飯山満です。39 ページ、2月19日の「生成AI（人口知能）で遊ぼう」は、公民館の職員が教えてくれるんですか。いいですね。

○飯山満公民館長

公民館職員が講師となって、まだ資料は作成中ですが、教える形です。事業担当者の職員がやる予定にはなっています。

○本間委員

もう本当にこういう時代だから、時代に合ったようなことをやらなきゃいけないんだと思うけど、生身の相手をしている施設の職員はそんな暇もなく生で子供と接しているけど、AIはAIでまたいいところがあるから、両方使ってねとはいつも言っているんですけど、ぜひ参加したいです。

○大塚委員長

ありがとうございました。やっぱりいろいろなものを知るというのも大事なことから。

あとご意見はございませんか。

○牧野委員

38 ページの飯山満さんの、1万円以上で駄目になったバス研修ですけれども、例えばこういうのはいくらぐらいを設定するものなんですか。参考に伺いたいんですけど。1万円以上では高いなということになったわけですね。

○飯山満公民館長

1万円以上というか、諸事情もあり、去年は7,000円で実施しています。感覚の問題なので自分の判断になってしまうのですが、お年寄りの参加が多いので、やっぱり1万円以上はなのかなと判断しました。

○牧野委員

分かりました。ありがとうございます。

○今井委員

学校なのでバスを校外学習で使うんですけれども、法律がいろいろ変わったり、諸物価の高騰もありますけれども、高く、マザー牧場に行くのにも1万円ではきかないんです。それはどうなんだろうと。マザー牧場さんは個人的にはいいところだと思っていますが、いろんな職員から、その価値があるのかどうか、考え直す時期なのではないかと。

民間のバス旅行なんかのチラシを見ると、県外で関東近辺だと京成津田沼・JR津田沼発着で1万5,000円とかが相場。そんなものかなと思いますが、それもランチがついていたり、いろいろついているんですよ。そういう中で1万5,000円。子供たちのマザー牧場が1万円。うちはカレーをつくるんですけれども、どうなんだろうと。やっぱりその

辺は今いろいろと高騰しているの、修学旅行もそうですけれども、予算をオーバーして組まなければいけない現状で、その辺の兼ね合いがすごく今難しいので、これを組むのも大変だなと思います。

ちょっと思ったのは、バスで行くところではないと思いますが、美術館とか博物館が、文化の日だと上野の辺りはみんな無料の期間があったりするじゃないですか。私たちが7月の終わりに「教員のための博物館の日」というのがあって、5日間ぐらい無料なんですよね。でもその頃って総体の時期なので、中学校は誰も行けないんです、残念ながら。でも、そういうところと重ねるなどして安くできたらいいないつも思うんですが、安い時期に合わせて行事を組むというのもなかなか難しい。そういうところは同じように多分苦慮しているところで、逆に何かいいことがあったら教えてほしいなと思います。

すみません、意見ですが。

○飯山満公民館長

ありがとうございます。

○大塚委員長

ただいまお話があったように、公民館事業という形、学校事業の中でも、やっぱり高額なものに対しては大変難しいところも多々あるかと思います。いいからやるということではなくて、その辺も公共事業という形の中でどういうふうにかんがえたらいいかというのは必要になってくると思います。いいから高いけどやるよということではないと思うので、その辺をじっくり皆さんと話し合いながら、できる範囲の中でやるしかない部分もあると思いますので、よく熟慮してから実行するようなことを、まずお願いしておきたいと思います。

○加瀬委員

バスのお話が出ましたけれども、11月からまた上がったんですよ。10月いっぱいには計画書を出してバスを予約すれば旧料金だったんですけど、11月からまた上がりました。年が明ければ、また上がるはずなんですけど、今、観光バスはドライバーさんが1日9時間しか乗れないんです。その9時間というのも、車庫から出て車庫に帰る時間が9時間、交通渋滞だとしたらカットされるんですけど、計画の段階でそうなんです。1日360キロとか、だんだん厳しくなっているの、今お話しのように観光バスは上がります。

船橋には比較的観光バス会社がないんですけど、地元のバス会社を頼めばいいんですよ。車庫から来る時間ですから。だから、遠くから頼むとその分だけ。東都観光が東京のバス会社なんですけど、今、船橋に車庫を持っているので、東都観光は船橋から来れる。あと船橋にあるバス会社といったら鎌ヶ谷観光ぐらいですかね。鎌観が比較的近い。

そんなこんなで学校なんかでもいろいろ苦勞されて、小学生が5年生になると一ノ宮の自然の家に行くんですけど、あれは送っていったバスがお昼過ぎまで待っていて、送っていったバスが今度向こうから帰ってくる子供を乗せて帰ってくるんですね。バスを拘

東させて、向こうを2時半頃出てくるのかな。お昼を食べて子供は帰ってきますから。そういうふうにやりくりはしているんですけど、今先生おっしゃるように、これから学校の校外学習も非常に厳しくなってくる。私たちも町会とかでバスを使う機会が多くなっているんですけど、年々上がりますね。

○大塚委員長

バス会社がどうのこうのではなくて、やっぱりガソリンだとかいろんな問題が今日本国では起きていますから、そういう点では下がるのではなくて、お米を含めて上がる、上がる、上がる。それから医療関係も上がる、上がる、上がる。こういうことに現実になっていますので、子供たちは、学校を含めて公民館での事業をやるにしても、バス旅行や何かということになれば、大変な負担がかかるということを頭に入れながら考えていかなければいけないと思います。

○加瀬委員

ガイドさんが1日2万7,000円ですから。

○大塚委員長

そうですね。

○加瀬委員

ガイドなしというのが最近結構多いです。

○大塚委員長

それでは、公民館事業計画について採決をとらせていただきたいと思います。

東部ブロック公民館の事業計画につきまして、ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。

(「異議なし」の声あり)

○大塚委員長

ありがとうございました。全員賛成ということでございます。

各公民館からの事業計画につきましては、今ご承認をいただきました。本年もよろしくお願ひしたいと思います。

それでは、次第(3)「その他」になりますが、事務局から連絡事項がありますか。

○東部公民館長

26館の合同事業のことにつきまして、報告いたします。

12月7日(日)に「公民館の未来を考える～これからの社会教育施設とは～」というテーマにおいて開催をさせていただいたものでございます。

これを開催した経緯につきましては、現在公民館が抱える課題、利用者数の減少とか利用者層の固定化、または利用団体の高齢化、こういった現状抱える課題について、公民館はこれからどうやって取り組んでいこうかということの中で、地域の皆さんにとって公民館というものを身近に感じられる、利用しやすい公民館にするためにはどうしたらいい

いか、こういったことに対して我々公民館職員だけではなく、やはり地域の皆さんと一緒に考える、地域の皆さんから意見を集う、どうしたらいいよ、こうしたらいいよ、そういった機会を設けよう。そういったことの中で、東部公民館を会場として開催したものでございます。当日は大塚委員長を含め 26 名のご参加をいただいた中で開催をさせていただきました。

この内容については、最初の講演会につきましては、本市の社会教育委員でもございます筑波大学の准教授、丹間康仁先生をお招きして、基調講演として「公民館の未来を考える」ということでの講演をいただいた後、グループディスカッションということで、6 つのグループに分かれまして、それぞれのグループにはそれぞれの公民館の職員も含めた中でグループ討議、ディスカッションを進めたところでございます。

そのグループ討議の内容についてでございますが、これからの公民館はこんなふうな公民館になればということで、それぞれのグループでテーマを掲げて話し合っ、グループ 1 からグループ 6 まで意見が出されたというところでございます。

グループ 1 では、バリアフリーな公民館であればという意見が出されました。具体的にはということで、気軽に立ち寄れ、声をかけられる。フリースペースがある。立ち寄る機会の充実。若い世代、子育て世代が来たくするような公民館。

グループ 2 では、幅広い世代が利用できる公民館。

グループ 3 では、互いに顔の見える公民館。つまりはコミュニケーションが大切だと。それが地域に広がっていく。それが世代を超えたハブ（拠点）になる。

グループ 4 では、会話ができる公民館。具体的には誰と誰ですかというところでは、館長とコーディネーター、今の利用者と新しい利用者との交流、あとは世代間の交流。

グループ 5 では、見直しのできる公民館。今までやってきた事業を繰り返し繰り返しというのやり方としてあるけれども、今までのやり方を変える、見直す、そういったことができる公民館。また、見直しするに当たっては、地域の方々と一緒に事業内容を考えて取り組んでいく。そのことが事業にいろいろご協力いただいているコーディネーターさんのモチベーション、やりがいにもつながっていく。併せて、公民館職員の意欲の向上も求められるものだというお話もいただいたところでございます。

グループ 6 は、「ありがとう」と言える公民館ということです。感謝される公民館という中で、地域のハブとなるべき公民館で、広報紙を有効的に活用して、誰でも参加できるオンライン化の事業。オンライン化の事業はいろいろ出ているところもあるのですが、特に若い方でも参加できる時間帯でのオンラインを活用した事業の展開など。

というような意見がそれぞれのグループで挙げられたものでございます。

これらの意見を踏まえた中で、これから公民館として実際に私ども公民館 26 館がどういうふうな形で取り組んでいくかということ、挙げられた意見を今後整理して、この意見を踏まえた中で、公民館が目指すものについては、やはり公民館の中できちんと整理を

して、整理したものの中で取り組んで進めていこうという形になろうかと思ってございます。

そういった方向性をまずはきちんと整理して、それを我々の事業、また地域の皆さんとともに反映して、課題の解決に向かって少しでも第一歩を踏み出せるように取り組んでまいりたいというところでございます。

以上でございます。ありがとうございました。

○大塚委員長

ご苦労さまでした。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○牧野委員

中学校の校長先生がおいででいらっしゃるの、伺ってみたいのですけれども、例えば社会科の授業で、公民館というものがあるんだよ、こういう活動をしているんだよというような時間ってどうなんでしょうか。持っていたら。

○今井委員

授業の中では取り上げる単元はないのですが、地理の授業の中で「身近な地域の学習」というのがあります。私、たまたま社会科の教員なんですけれども、そのときに取り上げさせていただいたのが薬円台公民館さんと薬園台駅のバリアフリー、点字ブロック、スロープ、手すりなど、薬園台駅だとエレベーターから何からいろいろあるんですけど、そういうものを身近なので取り上げて扱ったことはあります。あとは歴史的なことでも、薬円台公民館さんは地域の歴史についてまとめたリーフレットを作成されているので、そちらを紹介したりして身近な地域で役立てたことはありますけれども、公民館自体を扱う学習の機会は学習指導要領には社会科ではないです。

○牧野委員

どうなんだろうね、そこでちょっと。小さい頃はお母さんなんか連れられて行くことはあるだろうけれども、これから大人になって10代の人利用が少ないといったときに、そこら辺からちょっと言ってくると、公民館というのもあるよというお勉強がちょっと入ると違うんじゃないかなと思ったりします。

○今井委員

あと、学び方を学ぶということで調べ学習をするときに、さっきの薬円台公民館さんもそうだったのですが、郷土史料館はもちろんそうですし、飛ノ台もそうかもしれませんけれども、公民館さんでも学べることはあるということで紹介はしますが、全部の教師がそういうふうになっているわけではないと思います。

○東部公民館長

学校の生活の中で公民館の存在を知ってもらって、それが大人に結びついていく。そん

な流れの中で、特に子ども公民館としては、令和8年度に向けても事業計画を立てるときには、やっぱり学校との連携した事業というものに力を入れてやるという方向性はもう出されております。

なので、先ほどの職業講演会にしてもそうですし、昨日東部公民館で開催したいけばな教室も小学校を対象にやっている。または、ここの地域でいえば前原小学校の地域探検。子供たちがここを訪ねてサークル活動を見に来る。公民館ってこういうところで、こういう活動をしているんだよと、いろいろとお話をさせていただく。そうすると、公民館ってこういうところなんだ、こういう部屋がいっぱいあるんだ、こういう講堂があるんだ、子供から大人までこういう学習会を開いているんだ、そういったところで理解をしていただいて、徐々に裾野を広げていけるのかなという考えはあります。

今後も引き続き学校と連携を取って、公民館の存在をまずは小学生の頃から、また中学生も通して、公民館ってこういうところなんだよといったところを、まずは知っていただくことが大事なのかなとは思ってございます。

○牧野委員

ありがとうございます。

○大塚委員長

ただ、公民館というところでは、やはり国の法律があって、日本国憲法があって、教育基本法があって、学校教育法と社会教育法があって、社会教育法のところに公民館が少し組み込んでくるという、一つのスタイルができていますよね。そのスタイルができていいんですが、公民館として今までやってきたことが悪いとか何とかではなくて時代も変わってきた。なおかつ、長いことやっていることによって、そこに少しあくがたまっている部分があるのかどうかという部分を考えてときに、もう少し新しい形の公民館というものが市民と一緒にやってつukれないかなという部分も含まれているような気がするんです。

どれがいいとか悪いとかではなくて、公民館というのは本当に市民にとって一番身近な公的なものだと思うんです。だから、その辺を公民館として、さらに市民ともっと身近で動ける部分があれば、それはそれでいいなということで、これから時間はかかるかもしれませんが、公民館があるから館長さんの言うとおりにやるというわけではなくて、市民の意見を聞きながら動いていくという形をつくる部分もあると思うんです。やっぱりみんなと声をかけ合いながら、それぞれが冷静で話し合うということが大事になってくるなというふうに思っています。

○東部公民館長

ありがとうございます。

○東部公民館長

先ほど申したとおりですが、例えばグループ1のバリアフリーな公民館という発表を

聞いた中で、特に東部公民館では、改修工事を経てフリースペースをつくったり、小さな子供が遊べるキッズゾーンを設けたことによって、若い人たちが、この会場の部屋を借りるのではなくて、勉強に来たり、そういったことがすごく増えたんです。もちろんこれは26館どこでもできるという話ではないけれども、東部公民館がこの改修工事を通してこういったスペースゾーンをつくる、もちろん立地的条件とかいろんな条件で成り立つ部分もあるかもしれないけれども、一つこういったことができたことによって、子供たちが、若い人たちが、どんどん口コミで広がってきて、勉強しに来たり、フリースペースを活用したり、若いお母さんたちが授乳室を使ったりというように、気軽に立ち寄れるということに一步近づいたのかなというのは実感したところでございます。

課題解決に向けた取組を、時間はかかるかもしれないけれども、一步ずつ進めていければなど考えてございます。

以上でございます。ありがとうございました。

○大塚委員長

ありがとうございました。

では、事務局さん、お任せいたします。

○事務局（東部公民館長補佐）

委員の皆様、本日はご審議のほど、ありがとうございました。次回は令和7年度第5回東部公民館運営審議会になります。日程は3月26日（木曜日）、午後3時から、場所は本日と同じ東部公民館の音楽室を予定しております。

大塚委員長、事務局からは以上です。

○大塚委員長

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、令和7年度第4回東部公民館運営審議会を閉会いたします。長い時間お疲れさまでございました。ありがとうございました。

午後5時02分閉会